講 師：佐藤　敏郎　氏

【プロフィール】1963 年生まれ。宮城県石巻市出身。1987 年より中学校教諭（国語）として宮城県内の中学校に勤務。2015 年３月退職。震災後は宮城県女川中学校、矢本第二中学校で防災を担当。宮城県の防災教育副読本の編集委員も務めた。

震災当時は、宮城県女川第一中学校（現・女川中学校）に勤務。震災後の５月、生徒たちの想いを五七五に込める俳句づくりの授業を行い、テレビ、新聞、書籍等で紹介される。震災で当時大川小学校６年の次女が犠牲に。遺族らと「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、全国の防災イベントで講演を行っている。現在は NPO KIDS NOW JAPAN 理事、NPO カタリバ アドバイザー、文科省委託事業「いのちを語り継ぐ会」講師。

浜松学院大学地域共創センター

地域共創センターは、大学の持つ知的資源を地域に結びつけるコーディネーターの役割を担います。学生は、地域共創センターを通して、地域共創学科・子どもコミュニケーション学科のアクティブ・ラーニング科目群での学修を発展させ、浜松地域の課題の解決を目的としたフィールドワークや、さまざまな地域貢献活動に従事することになります。これまでに本学は、浜松市や浜松商工会議所等と包括連携協定を締結してまいりました。今後も産学官連携や地域に根差した取り組みを充実させていき、共同での研究や研修事業を推進し、教育・研究・社会貢献が一体となった活動を実践していきます。

「大学教育再生加速プログラム」（文部科学省補助事業）

浜松学院大学は、これまで「HGU 防災サークル」を中心に東北被災地スタディーツアーを実施するなど、東北の復興支援に寄り添ってきました。南海トラフ地震等が想定される浜松市にとって、大震災への備えは地域課題であり、東北被災地から学ぶことは多くあります。

東北被災地は、平成 27 年度文部科学省「大学教育再生加速プログラム（テーマⅣ長期学外学修プログラム）」に採択された、本学独自カリキュラム「DiCoRes プラス」のフィールドです。平成 29 年度より、東北被災地に学生が実際に訪れ、主体的に活動を作りだしていく取り組みを、大学として様々な面から支援します（防災活動・防災計画の学習、仮設住宅・復興住宅での交流イベント、学童保育等での学習支援など）。

◆駐車場には限りがございます。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。
遠州鉄道バス　浜松駅「１番のりば」より 15 分
舘山寺線「浜松学院大学」下車

公開講座に関するお問合せ：
浜松市中区布橋３丁目二番三号　担当教員　大野木
TEL：053-450-7000（代表）　メール：onogi@hgu.ac.jp